



みずの ゆうすけ
水野 裕介

生年月 1991年12月神奈川県生まれ
最終学歴 2016年明治大学大学院
理工学研究科建築学専攻
国際プロフェッショナルコース(I-AUD)修士課程修了
業務経歴 2016年大成建設(株)入社
現在、設計本部建築設計
第二部プロジェクト・アーキテクト
2020年より日本建築協会
委員(U-35委員会)

- 担当した主なプロジェクト
- 2016年 微生物化学研究会 espoir目黒/梅澤濱夫記念館目黒
 - 2017年 西覚寺庫裡
 - 2018年 The Juban
 - 2019年 東京建物三津寺ビルディング・カンデオホテルズ大阪心斎橋

■青年技術者のことば

世界を取り巻く環境が日々変化する中で、社会の問題を解決する手段としての建築の重要性が非常に高まっていると感じます。建築で全ての物事が解決できないこともあると思いますが、建築には社会を動かすきっかけとなる大きな力を持っていると私は考えます。私は建築設計者として8年間様々な業務を経験してきました。どのプロジェクトでも、どんなかわり方をして自分も設計した建物が誰かや何か社会のきっかけとなり、クライアントや利用者の人々に愛されるものになる、これが私の建築設計者としての思いです。建築は多様な分野と密接にからみ関係性を持っています。そのためには、自身も日々培う多くの経験から社会を知り、そして設計を通して社会へ少しのことで貢献し続けていくことを今後将来にわたって続けていきたいと考えています。

■すいせん者

平井浩之
大成建設(株)一級建築士事務所
エグゼクティブ・フェロー-副本部長兼関西支店設計部長



御堂筋に面した都市型寺院の新たなプロトタイプ



寺院とホテル双方のアプローチを兼ねる境内*



室内から境内、ホテルエントランスをのぞむ*



ホテル客室から御堂筋を眼下にのぞむ*

東京建物三津寺ビルディング・カンデオホテルズ大阪心斎橋 *撮影 伊藤彰(アイフォト)



生物の体内を廻るようなシームレスな展示空間

微生物化学研究会 espoir目黒/梅澤濱夫記念館目黒



既存の屋根と調和する深くシャープな軒

西覚寺庫裡



上質な下町に浮かぶ墨色の陰影

The Juban